

林業福島

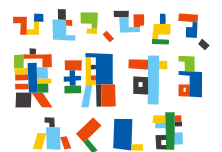
No. 724

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



12 2024

監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 積み込む





時間軸への視野

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

理事長 菊池 壯 藏

ふくしま植樹祭は今年で第七回を迎え、第五〇回目のいわき市植樹祭と合同で行われました。イベント準備に尽力されたスタッフのみなさんに敬意を表します。植樹会場の五〇年後、一〇〇年後の景観は昨今話題の生成AIなどを使えば目の当たりに観ることが可能かもしれませんね。逆に、それに合わせて将来の植生景観をデザインすることも必要かもしれません。

さて今年、私が参加したグループに割り当てられた植樹場所は土壌がかなり堅く（完成した防潮堤の近くで重機のキャタピラの跡も残っていました）、しかも小石や木の根などが多く隠れており、ちいさなクロマツの苗を植樹するために、移植ベラ片手にわずかに一五センチほどを掘るだけでも相当難渋いたしました。作業自体は無心で掘り進めてなんとか植えることができましたが、帰宅してから、あのような堅い土地でも無事育ってくれるのかと心配になりました。でも、「石割り桜」の例もあることだし、植物が根を張る力は私たちが地面を掘る力では及びもつかないものなのだろうと思うことにしました。舗装道路の割れ目から芽を出して花を咲かせる根性〇〇などもニュースになるくらいなもの。ミリ単位以下のじわじわした圧力で根を張っていく姿を想像してみました。スコップで地面を掘るように加えられる急激な力に抵抗する地面でも、長い時間をかけて少しずつ浸透していく植物の根っこにはかなわないものとみえます。でんじろう先生の実験映像で、水を張った片栗粉の水槽の上で駆足をしても沈まない現象が思い浮かびました。ゆっくりとなら簡単に手を入れることの出来るゆるい液体なのに、急激に加えられる圧力にはある種の粘性抵抗が生じて反発するのです。原理的には全く異なるのですが、この「レイノルズ現象」を人間ひとりの生涯という時間軸と地上の植物（樹木）の年齢とに無理矢理重ね合わせて想像してみたら、これと似たような「幻像」が浮かんできたのです。

密林に覆われたアンコールワットやマヤの遺跡などの映像も浮かんできます。樹木を育てる、または森林が拡大するという雄大な時間軸を忘れ、日々の暮らしに追われている人類は、「自然界」に対してその悠久な時間軸に対するほんの瞬間的な力で挑んではその抵抗を受けていることになるのかなあ、などと妄想するのです。

わずかに一五センチばかり頑固な地面を掘る作業をしただけなのですが、私の空想癖はとてつもなく広がったのでした。

《も く じ》

とびら

時間軸への視野

- 公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長 菊池 壯 藏……………1
第7回ふくしま植樹祭・第50回いわき市植樹祭を開催しました…2
第49回福島県林業祭を開催しました……………3
令和6年度福島県林業コンクール……………4
第75回福島県学校関係緑化コンクール…………4
第27回福島県森林組合連合会良質材展示会…5
第3回ふくしま伐木チャンピオンシップと世界伐木チャンピオンシップ…5

- 令和6年度福島県きのこ品評会……………6
第21回ふくしま森林・林業写真コンクール…6
林業アカデミーふくしま研修日誌⑦…………7
普及指導員通信……………8
森連だより……………9
林研グループだより……………10
木の文化を育む⑨……………11
木材市況・ふくしま東西南北……………12
はなしのひろば・お知らせコーナー…………13



参加者全員による記念撮影

第七回ふくしま植樹祭・ 第五〇回いわき市植樹祭を開催しました

ふくしま植樹祭実行委員会

令和六年十一月十日(日)、第七回ふくしま植樹祭・第五〇回いわき市植樹祭をいわき市錦町須賀地区において開催しました。

今回の大会は、第五〇回いわき市植樹祭との共同開催となったことにより、募集人数も昨年の五〇〇名から七〇〇名とし、県内外から昨年より多くの参加をいただいたの開催となりました。

第一回大会から全国に発信しております「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトとし、「美しいふるさとを継承する 森林と人との絆の森林づくり」を開催目的として、県民参加の森林づくりをさらに進め、未来を担う子どもたちに、美しい森林と自然に囲まれたふるさとを継承するため、多くの方々とともに植樹・育樹活動を行いました。

当日は天候に恵まれ、事前申込された約七〇〇名の方の参加をいただきました。

式典を始める前に、東日本大震災でお亡くなりになられた方々へ黙祷を捧げました。

式典は、福島県 鈴木正晃副知事、ふくしま植樹祭実行委員会 小檜山善継委員長、



植樹活動後の記念写真



植樹活動



育樹活動

地元いわき市 内田広之市長、二〇二四年ミス日本みどりの大使 安藤きらりさん、二〇一七年ミス日本みどりの女神 野中葵さん(須賀川市出身)の五名が登壇し挨拶などを行いました。また、昨年の第六回開催地であった南会津町 渡部正義町長から今回の開催地であるいわき市長へバトンリレーセレモニー、綴秋山みどりの少年団による「ちかいのことば」、カワヅザクラの記念植樹の後、参加者全員による記念撮影を行いました。

式典終了後は、隣接の植樹会場に移動し、いわき市植樹祭の区画は「復興サイクリングロードいわき七浜海道」の一部として整備されていることから、地域の憩いの場としてカワヅザクラ八本とアジサイ二、一四〇本を、ふくしま植樹祭の区画に

はクロマツ七二四本の植樹を行いました。育樹会場は以前に植えられたクロマツの生育を促すため、枝払いや除伐を行いました。

また、交流イベント会場では、木の枝クラフトや丸太切り、薪割り等のブースを設け、時間の許す限り楽しんでいただきました。

これからもこうした森林づくりを続けて、広げて、繋げていけるよう努めてまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

今大会は、地域の公民館を休憩所として利用させていただいたり、株式会社クレハいわき事業所様から臨時駐車場として土地をお借りできたりしたことにより、円滑かつ無事に開催することができました。関係者の皆様にご協力いただいたことを深く感謝いたします。

第49回

福島県林業祭を開催しました

福島県林業祭実行委員会

福島県林業祭は、恵み豊かな森林を守り、育て、木材などを生産する「林業」の魅力と重要性を県民の皆様幅広くPRするお祭りとして、昭和五十一年から開催しています。

四九回目となる今年は、十月二十六日（土）に林業研究センターで開催しました。今年は、イベント内容によって会場内を八つのエリアに分け、来場者の皆様によりわかりやすく林業の魅力を感じていただけるよう、見学・体験型イベントを充実させる等の工夫を行いながら運営しました。

この日を楽しくにされていた方々の声が多く寄せられ、前回の二倍となる約二、五〇〇名とたくさんの皆様に御来場いただきました。

「メイנסテージエリア」で今回新たに行われた「ログハウス組立体験」は、株式会社赤井製材所様のご協力のもと、釘や接着剤を使わずログハウスを自らの手で組み立てる貴重なイベントとなりました。

計三回行われた「模擬上棟式」では、一般社団法人福島県建築大工業協会様が建築した木造躯体からお菓子や餅がまかれ、子どもから大人まで多くの来場者の方で盛り上がりしました。

午後に行われた「森のオーークション」では、チェーンソーアートショーで製作された作品をはじめ、県内各地の魅力あふれる逸品が、次々と元気なかけ声で競り落とされました。

「木の匠エリア」では、木工体験教室や草木染め、木育コーナーのほか、栗田広行氏によるチェーンソーアートショーでは、丸太から生み出される迫力ある蛇に、多くの観客が惹きつけら

れていました。

「森のクラフトエリア」では、木工クラフト品の展示やワークショップ、農産物加工品や飲食物の販売のほか、「森のコンサート」が復活し、爽やかな音色に包まれたエリアとなり、多くの来場者で賑わいました。

「森林の魅力発見エリア」では、緑の相談室や苔玉体験教室、ペレットストーブ展示、漆器販売といった森林レクリエーションや森林文化に関するブースと、緑の募金や森林保険などのPRが行われました。

「きのこまつりエリア」では、県政

PRコーナーのほか、きのこ品評会において県内の生産者から出品された選りすぐりのきのこが販売され、多くの皆様に購入していただきました。

「そまびと体験エリア」では、高性能林業機械の展示・試乗、「未来の柚人育成エリア」では、施設見学、アカデミー相談会やハーベスタシミュレーターの操作体験コーナーのほか、林業アカデミーふくしま研修生によるフリスビーが行われました。

また、「第三回ふくしま伐木チャンピオンシップ」では、県内外の林業従事者や林業アカデミーふくしま研修生が出場し、競技を通じて、作業の安全性、正確性、スピードを競うとともにその格好良さをアピールしました。北門からの通路脇では、「森の体験エリア」として、ツリークライミング®体験、かんなくずプール、落ち葉の

プールが行われ、子どもたちは普段体験できない壮大な体験を通して五感で森林を感じていました。

スタンブラリー「森林を遊びつくせ！」では、会場内の各エリアに設置されたポイントでスタンプを集め、抽選で林業にちなんだぬいぐるみや漆器、オリジナルグッズなど様々な景品がプレゼントされるとあって、多くの皆様に楽しんでいただけました。

今年も郡山市を始め、出展者や出演者の皆様など多くの方々の御協力により、無事に林業祭を開催することができ、この場をお借りして深く御礼を申し上げます。今後も皆様方とともに工夫を重ねながら、森林・林業・木材産業の魅力を発信するため、林業祭をさらに盛り上げてまいりたいと考えていますので、引き続き御協力をよろしくお願いします。



ログハウス組立体験



チェーンソーアートショー



餅まき



きのこ品評会



第3回ふくしま伐木チャンピオンシップ



樹界機士パイプロスパー



かんなくずプール



パンフルート演奏



ベコ太郎



スクラップつみき

令和六年度

福島県林業コンクール

福島県森林計画課

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展を目的として開催しています。

今年度は、七件の応募があり、九月九日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞の受賞者を決定しました。

今年度は、森林育成において、林床で櫛を育てることと土地を有効活用する生産性向上への創意工夫や、計画的な間伐実施の取組が評価される審査結果となりました。

今後も林業経営者の皆様の林業技術向上に加え、時代とともに進化する林業に対応した方法で、引き続き開催してまいります。

部門別表彰者

一 山林苗畑部門

福島県知事賞

長嶺 忠和

福島県農林種苗農業協同組合代表理事組合長賞

株式会社社川上種苗園

福島県森林組合連合会代表理事会長賞

株式会社福島植物園

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞

岡部 利一

二 森林育成（間伐）部門

福島県知事賞

緑川 平寿



森林育成（間伐）部門県知事賞の人工林（緑川 平寿）



山林苗畑部門知事賞の苗畑（長嶺 忠和）

福島県木材協同組合連合会長賞

末永 正則

福島県森林組合連合会

代表理事会長賞

音金共有代表

星 健一

第七五回

福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林計画課

本コンクールは、児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るため、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。今年は六件（学校林等活動の部二件、学校環境緑化の部四件）の応募があり、県審査委員会により、表彰者を決定しました。

最優秀賞（知事賞）は、両部門ともに会津若松市立川南小学校が受賞しました。

1 学校林等活動の部

・会津若松市立川南小学校

校内の樹木を活用して行うテーマ学習や樹木オリエンテーリングでは、地域の障がい者施設の方々や幼保園児童と交流しながら、樹木への理解・関心を高めています。



学校林での活動の様子（会津若松市立川南小学校）

2 学校環境緑化の部

・会津若松市立川南小学校

学校のシンボルであるカンナの花を中心に、学年ごとに児童自ら花壇をデザインし整備するとともに、学校独自に開催している「花壇コンクール」で表彰し、児童の緑化への興味・関心を高めています。また、地域のさまざまな施設に、花のプランターの寄贈や花壇への植栽、栽培したラベンダーを使った菓子の提供をするなど、地域の緑化及び住民の緑化意識醸成に貢献しています。



学校環境緑化の様子（会津若松市立川南小学校）

第二七回

福島県森林組合連合会良質材展示会

福島県森林組合連合会

当会は、第二七回福島県森林組合連合会良質材展示会を、去る十月十七日(木)、いわき木材流通センターにおいて開催いたしました。

この行事は、関東森林管理局、福島県、福島県木材協同組合連合会からのご後援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しております。

生産技術の改善向上や木材品質の向上、福島県産材の優秀性を広く紹介すること、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

審査は十月四日(金)、当センターにおいて福島県、福島県木材協同組合連合会、買方者代表の方々に協力いただき、県森連の計五名が行いました。

「審査の流れ」

第一次審査 材の数量規定、造材技術や商品価値を満たしているかなどを審査します。

第二次審査 第一次審査で選出された材について、審査員が表1の基準により材種及び材種区分ごとに審査し、各賞を決定します。

今年度は出品点数三〇点から特に優秀なもの七点を選定しました。受賞者については、表2「受賞者名簿」の通りです。

「ご出展いただきましてありがとうございます。」
また、これまで良質材展示会の開催にあたりましては、出荷者、買方者の皆様のご協力並びに関



林野庁長官賞のスギ4.00m大径材 (いわき市 蛭田勝夫)

(表2) 受賞者名簿

賞名	受賞者名	樹種	長級(m)	径級(cm)
林野庁長官賞	蛭田 勝夫	スギ	4.00	40
福島県知事賞	緑川 農林 緑川 平隆	ヒノキ	6.00	16-20
関東森林管理局賞	大原林業 代表 水野 郁夫	スギ	3.65	42-44
福島県木材協同組合連合会長賞	石嶋商事 石嶋美智男	スギ	4.00	48-52
福島県森林組合連合会長賞	木葉山林業 佐藤 政義	スギ	4.00	40
福島県森林組合連合会長賞	田村森林組合	スギ	4.00	40-46
福島県森林組合連合会長賞	いわき市森林組合 代表理事組合長 田子 英司	スギ	3.00	18-20

(表1) 審査基準

審査項目	審査対象
育林技術	節の有無・大小
	年輪幅
	材の曲がり
	材のまる身・偏心
	材の光沢・色彩
造材技術	枝はらい
	材の切断面
	延寸
総合	商品価値・市場性

係機関のご指導ご協力があったことと、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。当センターは、流通施設としてSGEC/CoC認証を取得するなど県内森林組合系統の唯一の木材市場として、買方者の皆様に福島県産材を安心して求めただけりよう、供給体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用下さいますようお願いいたします。

第三回

ふくしま伐木チャンピオンシップと世界伐木チャンピオンシップ

林業・木材製造業労働災害防止協会 福島県支部長

当支部及び林業祭実行委員会との共催による「第三回ふくしま伐木チャンピオンシップ」を、十月二六日に福島県林業祭会場、福島県林業研究センターにて実施いたしました。

当競技会は平成十九年に「きこり番付プロクラス」(林業研究センター主催、当支部後援)として初めて実施されて以降、「ふくしま伐木選手権」と名称を変更して当支部主催で実施してまいりました。途中、東日本大震災や新型コロナウイルスの影響により中止となる年もありましたが、令和四年から現在の「ふくしま伐木チャンピオンシップ(FLC)」として実施できていることに感謝申し上げます。

今年の競技会は、県外参加者三名を含む二五名の選手が、早切り、合わせ切り、水平切り、伐倒の四種目で白熱した競技が行われました。今回思うような成績とならなかった皆さん、次回のリベンジを期待しています(お疲れ様でした)。



武藤唯さん(左)と平子支部長



第3回ふくしま伐木チャンピオンシップの様子

○上位入賞者は次のとおりです。

優勝 畠山直樹 (株式会社山下組・岩手県)

準優勝 高橋真也 (株式会社T FOREST・相双)

第三位 渡辺直也 (林業アカデミーふくしま長期研修生・県中)

また、今回競技会の昼休みに六月の日本伐木チャンピオンシップ(JLC)に優勝し、九月にオーストラリアのウイーンで開催された世界伐木チャンピオンシップ(WLCC2024)において、アジア圏初となる女子の部総合三位に入賞した武藤唯さん(株式会社秋山林業所、林業アカデミーふくしま二期生)へ、平子支部長からお祝いの花束が贈られるとともにメダルの披露が行われました。武藤さんは昨年のふくしま伐木チャンピオンシップショートクラスで二位に入賞しており、当競技会が世界へ繋がる競技会となっていることは大変喜ばしい限りです。

当支部は、今後も当競技会を通じて、伐木技術及び安全作業の向上並びに林業の仕事を広く一般に広め、林業の社会的地位向上を図りながら、安全作業への高い意識と技術力を持った人材の育成と林業労働災害の撲滅に向けた啓発に取り組みで参ります。皆様のご更なる御支援、御協力をお願いいたします。

令和六年度

福島県きのこ品評会

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島県きのこ振興協議会

令和六年度福島県きのこ品評会が十月二四日(木)に県林業研究センターで開催され、総出品数一〇〇点の中から、最高賞の農林水産大臣賞には、生しいたけの部原木栽培部門の箭内幸一氏(田村市)が輝きました。高温で厳しい気象条件のなか、色がきれいで軸のしつかりとした生しいたけが出品されたことが評価のポイントです。この品評会は、例年当協会と福島県きのこ振興協議会が、福島県をはじめ関係団体の

後援をいただき、福島県きのこまつりの一環として実施しているものです。二六日(土)に林業研究センターで開催された第四九回福島県林業祭において、品評会の出品作品の展示・販売会を行い、大勢の来場者で賑わいました。また、林業アカデミーふくしま研修施設大講義室では表彰式が執り行われ、受賞者の栄誉を讃えました。各賞の受賞者は表のとおりです(敬称略)

審査状況



農林水産大臣賞



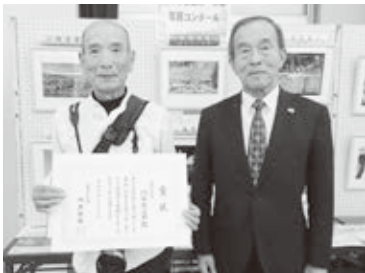
受賞者名簿

賞 名	受賞者名	市町村	部 門
農林水産大臣賞	箭内 幸一	田 村 市	生しいたけの部 原木栽培部門
林野庁長官賞	大野 宏樹	天 栄 村	生しいたけの部 菌床栽培部門
	山田 康人	福 島 市	乾しいたけの部
	有限会社鈴木農園 代表取締役 鈴木 清	郡 山 市	なめこ・ひらたけの部
福島県知事賞	古川 政善	郡 山 市	生しいたけの部 原木栽培部門
	山田 康人	福 島 市	生しいたけの部 菌床栽培部門
	鈴木 吉一	磐 梯 町	乾しいたけの部
	有限会社加茂農産 代表取締役 加茂 直雅	いわき市	なめこ・ひらたけの部
福島民報社 代表取締役社長賞	上石 広昭	郡 山 市	生しいたけの部 原木栽培部門
福島民友新聞社 代表取締役社長賞	尾亦 隼一	矢 祭 町	生しいたけの部 菌床栽培部門
全国椎茸商業協同組合連合会 理事長賞	西会津しいたけファーム 土田 杏子	西会津町	乾しいたけの部
日本特用林産振興会会長賞	有限会社ハッピーファーム 代表取締役 安田 潤一	郡 山 市	なめこ・ひらたけの部
公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 会長賞	渡邊富士雄	本 宮 市	生しいたけの部 原木栽培部門
	農事組合法人愛椎ファミリー 代表理事 小椋 和信	郡 山 市	生しいたけの部 菌床栽培部門
	福田 正三	石 川 町	乾しいたけの部
福島県農業協同組合中央会 会長賞	佐久間利広	矢 吹 町	なめこ・ひらたけの部
	有限会社遠藤きのこ園	川 内 村	生しいたけの部 菌床栽培部門
	大橋 茂美	伊 達 市	生しいたけの部 原木栽培部門
全国農業協同組合連合会 福島県本部賞	西会津しいたけファーム 中村 寛基	西会津町	生しいたけの部 菌床栽培部門
福島県森林組合連合会 代表理事会長賞	株式会社ベルッコ 代表取締役 鈴木 忠	郡 山 市	なめこ・ひらたけの部
福島県きのこ振興協議会 会長賞	齋藤 憲一	伊 達 市	生しいたけの部 原木栽培部門
	農事組合法人会津きのこ工房 代表理事 野原 勇一	西会津町	生しいたけの部 菌床栽培部門
	株式会社しもごう農園	下 郷 町	乾しいたけの部
	芳賀 敏	塙 町	なめこ・ひらたけの部

第21回最優秀賞(県知事賞)
受賞作品

作品名「作業中です」

この作品は、2025年1月号の表紙に掲載します。



作品の前で記念撮影
門林さん(左)小椋山会長(右)

入賞作品は当協会のホームページでご覧いただけます。
<https://www.fukurin-net.jp>

ふくしま森林・林業写真コンクールは、森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信することを目的に、毎年度開催しています。本年度の応募者数は四八名、応募作品数は一四〇点と多数の応募があり、十月八日、県写真連盟高橋良雄様を審査委員長に、県及び林業団体で構成する審査委員会を開催し、厳正に審査し入賞作品を決定しました。表彰式は十月二六日(土)林業アカデミーふくしまの大講義室で、令和六年度福島県林業コンクール等表彰式において行われ、受賞者と入賞作品を讃えました。入賞作品の展示は、同日開催の第四九回福島県林業祭の会場と、十一月一日(金)から十一月八日(金)まで県庁連絡通路に展示し、写真を通して頑張る林業の姿を広くPRしました。今後は「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。

(最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者)

賞 の 種 類		入 賞 者		
区 分	賞 名	市町村	氏 名	タイトル
最優秀賞	福島県知事	いわき市	門林泰志郎	作業中です
優 秀 賞	公益社団法人 福島県森林・林業・ 緑化協会会長賞	喜多方市	片桐 勝美	自然・緑・木材資源
		石川町	小林 正義	怪力現れる
		南会津町	広野 資郎	熟年の技
特 別 賞 (一般の部)	一般財団法人 福島県林業会館 理事長賞	会津若松市	大島 市郎	冬の備えも出来 祭りだよ
特 別 賞 (学生の部)	公益社団法人 福島県森林・林業・ 緑化協会会長賞	いわき市	飯山 悠大	積み込む

第二回

ふくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

林業アカデミーふくしま研修日誌⑦



研修が始まってから七ヶ月目の十月は二回目のインターンシップがあり、徐々に研修生達の進路が定まってきました。

○十月の研修内容

「就業体験（インターンシップ）」

十月の最初の九日間は県内各地の事業体にご協力いただき、インターンシップを行いました。研修生達は就職先の決定を間近に控えているため、就職した際に自らに求められていることや、自分の現在のレベルを知る良い機会になりました。

「造林・更新」

真名畑林業(有)に講師をお願いし、塙町の実習フィールドにおいて二期生が伐採した箇所の刈払いと地寄せ、植付けの実習を行いました。スギのコンテナ苗とイロハモミジの裸苗を植栽しました。

「育苗」

(有)上原樹苗に講師をお願いし、苗木生産の一年間の工程や苗木の取り扱いなどを学びました。また、夏の講義で見学した広大な苗畑を再度訪れ、苗木の成長を確認することが出来ました。

「現場管理の基礎」

森林所有者への施業提案や現場の

マネジメントに必要なとなる工程管理やコスト計算、現場管理の考え方を学びました。

「チェーンソー伐木造材技術」

ソーチェンの目立てはこれまでの実習や自習において繰り返し取り組んできましたが、今回は理想的な刃の形状にするための目立ての技術を学びました。目立て後は切れ味の違いを実感し、刃で木材を切削するメカニズムについて理解を深めました。

「林業祭」

十月二六日(土)に行われた林業祭では、第三回ふくしま伐木チャンピオンシップ(FLC)への参加や木製フリスビーの的入れゲームの出演、ハーベスタシミュレータ操作体験の説明など、様々な活動を通して来場の皆様に「林業アカデミーふくしま」を知っていただく機会となりました。

「林内路網（バックホー操作）」

「チェーンソー伐木造材技術」

「高性能林業機械運転転技術」

基本操作の定着を図ることを目標に、三班に分かれての実習を三日間行いました。

林内路網では法面の表土のすき取りと転圧を行いました。

チェーンソー伐木造材技術では、

混み合ったスギ林の切り捨て間伐を行いました。選木から伐倒方向を決めて伐倒、枝払い、造材までを一貫して行うことで実践的な実習となりました。

高性能林業機械運転転技術では、グラップルとフォワーダを使って集材とはい積みの練習を行いました。

○研修生の感想 鈴木史弥さん

林業アカデミーふくしまに入講し七ヶ月が過ぎ、最近では基本的な技術の反復練習が続いています。チェーンソーの操作、目立て、重機の操作など技術の向上に努めています。また、十月のインターンシップでは就職先について考える重要な機会となりました。

インターンシップ先では色々なことを経験させていただきました。アカデミーの実習ではスギがメインのため、ヒノキは枝が落ちずに残っておりすぐ掛かり木になってしまい、根張りが強くツルを

いつもより少なく残さなければ簡単に倒すことは出来ませんでした。初めてのヒノキの伐倒にとっても苦戦しましたが、とても良い経験が出来ました。

残りの研修も技術の向上に努めていきたいと思っています。



まくり棒を使って地寄せをしました



FLC：丸太合わせ輪切り

○研修生の感想 松本 潤さん

林業アカデミーふくしまでの研修が始まって七ヶ月が経過しました。始めは木の違いもわからなかった私ですが、研修を通してスギ・ヒノキといくつかの広葉樹が見分けられるようになり、地寄せから伐採までの施業についての理解も進んで、今では重機やチェーンソーなどを扱う技術を磨いています。そのような中で十月に最も成長を実感できたのは、六月に続いて改めて行われた目立ての研修でした。今までの試行錯誤と今回教えられたことが実を結んでやっと良い刃というもの理解が深まり、切れる刃に大きく近づくことができたのです。

これからの研修でも様々な違いを見極めることができるように知識と経験を積み、安全な作業を心掛けて、将来の現場で活かしたいです。

林業生産基盤の整備に向けた 林業専用道開設の取組

福島県県南農林事務所

林業普及指導員 彌勒地 浩 太

1 はじめに

森林管理道や林業専用道及び森林作業道の林内路網は、効率的な森林整備のための基盤となるため、近年の森林施業システムに合致した適切な路網配置や構造とする計画にするとともに、開設された林内路網を継続的に利用可能な構造にする必要があります。

具体的には、森林管理道や林業専用道を中心とした森林作業道を配置する路網を構築し、高性能林業機械の導入及び稼働を可能にするとともに、大雨等による路面洗掘や路体流出等が生じないように耐久性を伴う構造とすることが必要です。

このため、県南地区では、ふくしま森林再生事業等を実施する市町村を対象に、当該事業の計画策定時に適切な林内路網配置について指導しており、今年度より鮫川村において、新たな林業専用道「中沢線」の事業実施となりましたので、その取組について紹介します。

2 取組内容

鮫川村大字富田字中沢地区の森林は、面積約60ha、人天割合は概ね同率であり、4～7齢級が8割を占めるなど森林資源が充実しているものの、これまで路網が無かったことから地元森林所有者から林業専用道等の開設が強く望まれていました。

このため、森林資源の状況や森林整備を希望する所有者の土地の配置状況、地形等の条件を踏まえながら地元との合意形成を進め、事業の早期完成に取り組んでいます。

(1) 地元説明会の開催

令和5年5月と令和6年2月に地元説明会を開催した結果、森林整備事業に伴う収益見込みや路網がどの土地を通るか等について質問や意見がありましたが、事業に対する反対はありませんでした。

また、参加者の多くは森林整備に関する関心が非常に高く、今後の森林整備の推進に手応えを感じることができました。

(2) 線形等の検討

地元の森林所有者等の理解が得られたことから、今年度は測量・設計業務を発注し、詳細設計に着手しました。

令和6年9月には、村担当者、受注者、県南農林事務所の森林整備担当者と林道担当者で、線形のたたき台を基に、森林整備計画を踏まえた路網計画について検討を行っています。

打合せの中では、土場の位置や作業道の分岐点、将来的な維持管理等について意見交換を行うとともに、今後の工事計画を踏まえた森林整備計画についても意見交換を行いました。

当該地は森林に関する関心が高い地域であったためか、地元との調整は比較的スムーズに行われたと思います。



地元説明会の様子



地元住民による線形案確認状況



林業専用道「中沢線」予定地遠景

3 今後の取組

これまでの取組により、森林整備計画を踏まえた線形について概ね整理できたことから、今後は工事の早期発注と事業の早期完成に努めてまいります。

森連だより

令和六年度 北海道・東北地区林業 用種苗需給連絡協議会



十月三十一日、福島市の杉妻会館において令和六年度北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会が開催されました。協議会は、各道県または国有林、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所および森林整備センターにおける種苗の需給情報の共有並びに流通の円滑推進や、林業用優良種苗の需給情報の共有を図ることを通じて、その生産の安定と適正な流通を促し、造林の円滑な実施を目的としています。

協議会では、林野庁整備課造林間伐対策室種苗係長より昨今の種苗関係について情報提供が行われました。

その後、第一分科会（中央機関・各道県種苗関係）、第二分科会（森林組合連合会関係）、第三分科会（山林種苗協同組合関係）に分かれ、課題・要望等を検討・協議しました。

当会は第二分科会に参加し、内容については、花粉発生源対策苗木や再造林への取り組み、苗木の需給調整等の様々な協議がなされました。その中で各道県の関心が高く、議論の盛り上がりを見せた議題を紹介いたします。コンテナ苗を中心として、特に秋植えにおいてはイノシシによる苗木の引き抜き被害が発生しているが、他道県の被害状況や対策はどのようなにしているかというものです。

これに対し、ある県ではイノシシによる被害は全く出ていなかったり、またある県では、樹種や地形にかかわらず裸苗も含めた全ての苗木が被害に遭っていたりと様々な状況です。

シカやキヨンの被害と比べるとそれほどないが、砂利採取跡地の植栽など水辺においては被害が発生して

いる事例もありました。

苗木の被害状況も県によって、食べられていたり、抜かれていたり、苗木は立ったままかじっているだけだったりと様々でした。

イノシシの苗木引き抜き対策として、根本的なものはまだ確立されていません。参加者の意見交換では、石油の匂いは嫌うのか。ウサギの忌避剤はあるが、イノシシの忌避剤はない。イノシシ等有害捕獲促進事業を活用して捕獲すると、一部助成となるが、豚熱の報告もあるため注意が必要などの議論が交わされました。



全体会議の様子



第2分科会の様子

た。苗木の被害状況や被害場所等の共通点はなく、明確な対策が打てないのが現状です。再造林が増えている一方、獣害という頭を悩ませる被害も頻出しており、一刻も早く対策を打ち、苗木の被害がない再造林に向けた取り組みを続けていきます。

それぞれの分科会終了後、一堂に会し、各分科会からの報告にて幕を下ろしました。今後、当県において再造林地が増えることが想定されることから、引き続き他道県と情報共有し、苗木の安定供給等に取り組んで参ります。

団体のページ

林研グループだより

令和六年度の活動から



令和六年度未来の林業を支える
林業後継者養成事業
～新林研究部～

当福島県林研グループ連絡協議会
会員 新林研究部（代表 水野研介
いわき市）は、全国林業研究グルー
プ連絡協議会から助成を受け、令和六
年度未来の林業を支える林業後継者
養成事業を実施しています。

新林研究部は、当該事業において
森林・林業を支える女性の活躍促進
を図るための活動等への支援を受け、
水野奈緒さんを中心に、女性の林業
就業促進地域活動を行っています。

水野さんは、中山間地域に住む女
性や林業に携わる女性の林業収入の
新たな軸になることを目指し、日本
草木研究所と連携し、林業の副業と
なるマタタビの栽培に取り組んでお
り、販売についてペットフード会社

の協力も得、令和七年初めには自作
マタタビ棚の作り方と挿し木での苗
の作り方を学ぶ講座を開設するので、
マタタビ栽培に興味がある方は是非
ご連絡くださいと話していました。

【連絡先 大原林業 水野

✉ dbf.forestry@gmail.com】

また、水野さんは同じく全国林業
研究グループ連絡協議会が行う「令
和六年度森林・林業を活かして地域
を興す女性リーダーセミナー」（全五
回）を受講し、今後の女性林業者の
ロールモデルとして、林業における
キャリアプランやライフステージに
応じた働き方を提案できる人材とな
るべく、日々研鑽を積まれています。
※森林研究部の関連記事は、十一ペー
ジにも掲載しております。

第四九回福島県林業祭

十月二六日（土）、県林業研究セン

ター（郡山市）において第四九回福
島県林業祭が開催され、今年度も当
福島県林研グループ連絡協議会は、
森林・林業に関する啓発を目的に参
加しました。

当協議会のブースでは、豊田会長
が所属する田人林業研究会の協力を
得て、木工教室を開催しました。子
ども達に特に人気のあった小枝を
使った鉛筆のストラップ作りでは、
長方形の木片に枝を丸く切った大小
のパーツを真剣に取り付けそれぞれ
素敵な作品に仕上げていました。
また、今年は新たに、新林研究部



鉛筆ストラップ作り



木工教室の様子



この顔はドラえもん？



ひもを通して完成



植物の標本壁掛けコーナー



積木にチャレンジ

新しい仲間

今年度新たに「一般社団法人会津
自然エネルギー機構」（代表理事
五十嵐乃里枝 喜多方市）が当協議
会に加入されました。

が壁掛けになる植物標本の作成や小
枝の積み木チャレンジを行い、子ど
も達が競って参加していました。
参加した子ども達には、昨年度も
人気のあった当連絡協議会名入れの
福島県産ひのきで作った鉛筆（磐城
高箸製 旧校鉛筆）をプレゼントし
ました。

木の文化を育む 69

森の香りをSNSで発信く山野草を活かした
新規事業の展開く
(大原林業)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

福島県の南東部、阿武隈山地（高地）に位置している古殿町は、県内有数の林業地帯です。森林全体の約七〇%を占める人工林にはスギを主とした針葉樹が多く多様な植物相が自生しています。標高の高低差が大きく四季の変化に富む古殿町の気候は豊かな森林資源を育み、里山の香りとして多方面で活用されています。

○山の植物を届ける

大原林業（石川郡・古殿町）の水野研介さん、奈緒さんご夫妻は、戦前より続く家業の林業を営みながら、里山に生育する雑木や山野草などに利用価値を見出し、新規事業を展開しています。

茨城県出身の奈緒さんは四年前に研介さんと結婚し、現在一児の母として子育てに励んでいます。

森林インストラクター、森の案内人、そして樹木医でもある夫の研介さんは、管理する森林に生育する植物を調査し、森林ごとの地形や自生

する植物などをリスト化することで、資源量の把握や管理に役立てています。研介さんが管理する植物リストを手にした奈緒さんは、子育てをしながら林業の副業として「森の植物の利活用」を提案し、日本草木研究所へ採取した山野草の取り扱いを打診しました。現在では山の植物と食のプロを繋ぐプラットフォーム「山主さんのおさんぽ産直便」へ出荷しています。アブラチャンの実や杉の新芽、からす山椒、かやの実や葉など、季節毎に出荷するさまざまな旬の山野草は、ジンや草木塩、フランス料理の香りづけなど、さまざまな食用素材や原料として多方面で活用されています。

○山野草の香りを伝える

奈緒さんは、クロモジの新芽や花、サンショウの葉や実、カキドオシの葉など、一五〇種の森で見つけた旬の山野草の採取記録を一つひとつ丁寧にSNSで発信しています。自生する場所や活用法、食感、味、香り

も言語化し、その特徴を情報として発信しています。「アブラチャンの果皮はレモンガラス香に甘みを感じる香り」と表現する奈緒さん。香りの情報は創造性を掻き立て利活用の幅を広げます。

○マタタビの栽培

水野さんご夫妻は、二年前に新林研究部を主宰、福島県林研グループ連絡協議会にも加入し、夫婦の部活動としてマタタビの栽培を開始しました。杉は使用するまでに約五〇年の年月を要しますが、マタタビは三年で使用できます。ペットフード業界においてもマタタビの需要は非常に高く、今後は関連業界と提携し、新規事業として休耕田を活用したマタタビの栽培を推進していきます。令和七年二月にはマタタビ棚の支柱を立てる活動を開始する予定です。



研介さん、奈緒さん、ひなちゃん（1歳）

○まとめ

「山の植物にはさまざまな可能性が眠っています」と奈緒さん。子育てをしながら山野草を採取する作業は、子どもの自然体験の場となり健やかな成長を育みます。水野さんご夫妻は、随時山の草木案内とその場で草木を収穫できる山歩き収穫ツアーを開催しています。貴方も山の植物の可能性を見つけて利活用してみませんか。



@DBR.FORESTRY



草木を採取する奈緒さんとひなちゃん



山で収穫した植物

県森連いわき共販における木材市況（11月分）

令和6年12月1日
福島県森林組合連合会

（単位：㎡当り千円）

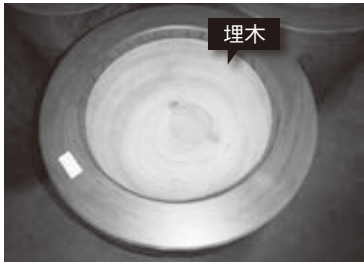
素 材					
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
ス ギ	4.00	9 下	12.0	11.5	
		10～13	14.0	13.5	
		24上	13.9	12.5	
	3.65	16上			
		24上	12.3	12.0	
	3.00	9 下	10.2	8.0	
		10～13	11.5	11.0	
		14～16	13.2	12.0	
		18～20	16.9	15.5	
		22上	17.0	15.8	
	6.00	16～20	15.3	15.0	
	2.00	16上	7.5	6.0	
ヒノキ	4.00	10～13			
		14～16	16.3	16.0	
		18～20	17.2	16.8	
		22上			
	3.00	16～20	16.9	16.2	
アカマツ	4.80	18～22			
	4.00	18～22	12.0	11.5	
		24上	12.0	11.5	
	3.00	16～22	12.0	11.5	
		24上	12.0	11.5	

素 材					
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
カラマツ	4.00	12下			
		13～14			
		16上			
ク リ	4.00	16上			
モ ミ	3.00	16上			
	4.00	20上			

市況概要と市況展望		12月の共販日
販売量は3,166㎡（前年同月比95%）でした。 市況は、前月同様スギ3 m柱材、中目材、4 m中目材等、活発に取り引きされました。県内、隣県地域の丸太不足が原因で価格も市毎に上がってきていますが、製品の価格は上がっていないので今後の動き並びに価格動向に注視する必要があります。 ※スギ4 m中目材が不足しておりますので、造材方よろしくお願い致します。		9 日(月) 17 日(火)

行 事 と お 知 ら せ	
12月17日(火) いわき木材流通センター 納市 県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。	
福島県森林組合連合会 木材市況	検索

師走となり、鏡餅を飾ったり新年にはお雑煮を食べたりと、一年で一番餅の出番があると思います。今回紹介する「けやきの森」は、JR磐越東線要田駅（田村市船引町）のすぐ傍にある餅つき道具専門店です。工場脇に原料となる樹齢一〇〇年を超えるけやきの太木が高く積み上げられた光景が目に入ります。白と杵はけやきの原木を三年ほど寝かせて乾燥させてから使用するそうです。けやきの白は堅くて丈夫で耐久性も高く、独特の美しい木目が特徴的です。

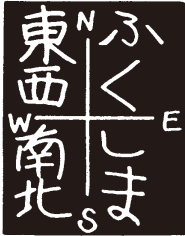


「けやきの森」の白は底の方が大きい、どっしりと安定した底広型です。芯をくり抜いて芯割れを防ぐ補強と水漏れ防止を図るため埋木（うめき）加工が施されています。白の中はミカン型をしており、手を入れて餅を返しやすく、ついた時に餅が飛び出しにくい構造になっています。けやきの白は熱が逃げにくく保温性があります。機械つきとは異なり、杵の重さを生かしてつき加減を調整す

ること、やわらかくてコシのある餅に仕上がります。

一般家庭はもちろん、幼稚園や小・中学校、福祉施設、自治会や商店街まで幅広く使用できるよう、ミニサイズから団体のイベント用に大きなサイズも豊富に取り揃えてあります。注文は日本全国にとどまらず、海外に住む日本人からもあるそうです。

白での餅つきは「ヨイショイ」の掛け声で、つく人も周りで見ている人も楽しく嬉しい気持ちになれます。あんこやきな粉、納豆や豆腐などいろいろな具材に合わせられますが、あなたの好みは何餅ですか？ちなみに私は、ぬた餅（ずんだ餡）が大好きです。



白と杵の店「けやきの森」

福島県中農林事務所 五十嵐 正 徳

表紙の写真



「積み込む」

第21回ふくしま森林・林業写真コンクール 特別賞(学生の部)
受賞者 飯山悠大さん(いわき市)
撮影場所：いわき市遠野町
コメント：重機で丸太をつかんで瞬間が迫力あったので撮ってみました。

発行人
飯山悠大

陽光社印刷株式会社
(定価 一〇〇円)

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
(福島市中町五番一八号県林業会館内)

はなしの
ひろば

暮らしの中の小さなお茶会

十二月の行事をみると「納める」や「終う」が見受けられるようになってきた。私ごとだが、五年日記が十二月三十一日で終了する。これも「納め日記」というのだろうか。日記というよりほぼ忘備録というところだが、空白のページもかなり多い。そして、新しい年の始めの予記には、毎年必ず同じ文面が並ぶ。毎年満足いく結果が残せていない証拠だが、これからも一生の課題になるのだろう。

空白の多い日記だったが、翌日のスペースにまで書き連ねた日があった。それは、油井宗歌氏(茶道裏千家淡交会教授)にお願いをして自宅で「暮らしの中の小さなお茶会」を催した日のことだった。とてもいい秋晴れの日で、少し開けた雪見障子から差し込んでくる日射しも穏やか。氏が、青竹で作ってこられた「結界」が暮らしの空間をよく引き締めてくれる。飾り花の花入れも背負い籠。中秋をよく取り入れた見事な茶席を作ってくださった。鉄瓶の湯気もたゆたいながらその明るい空間に立ちのぼっていく。茶道のいろはも知らない素人でも、楽しくお茶を嗜むことができるようにとの粋な心くばりに、その「道」を究めようとする氏の「さすが」を感じる。そして、愛らしいうさぎ模様の茶碗に広がる、お抹茶の深くて濃い緑の世界を味わう。来る年にも、こんな風に書き連ねられる「出会い」があることを願うながら、第一三九話、今年の「納め はなしのひろば」である。また、新しい年が明けた次号でお会いいたしましょう。どうぞ心穏やかな年の瀬でありますように。

第一三九話(都)

お知らせコーナー

第57回花いっぱいコンクール受賞者決定

花を愛する心と豊かな情操をはぐくみ“郷土を花と緑で飾ろう”の趣旨のもと、健康で明るい「福島県花いっぱい県民運動」の一環として実施された「第57回花いっぱいコンクール」の受賞者が決定され、令和6年11月25日(月)、福島民友新聞社において表彰式が行われました。

今回は、学校や企業、団体など41団体の参加をいただきました。毎年幅広い年齢層の方々が花の育成活動に取り組まれ、県内の各地域を彩っていることに心より感謝申し上げます。

なお、受賞された団体は、次のとおりです。

受賞者団体

福島県知事賞	玉川村立須釜小学校
福島県教育委員会教育長賞	喜多方市立上三宮小学校
福島県森林・林業・緑化協会長賞	大玉村立大玉中学校
福島民友新聞社長賞	ひまわり会(田村市)
農林中央金庫福島支店長賞	猪苗代町立猪苗代小学校
奨励賞	喜多方市立熊倉小学校 桑折町立醸芳小学校 いわき市立高坂小学校 喜多方市立第一小学校 でえはたロートルクラブ(南会津町) 南相馬市立原町第二小学校



県知事賞表彰(須釜小)



花壇の手入れ(県知事賞・須釜小)

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たもち

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

イワフジのGPシリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全回転チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全回転ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-CAN コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
(支 店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW

SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1